朝起きられない

反抗期 は誤解

足した。中高生の発症が多く、 域で考える会」が富士市を拠点に発 族を支援する「起立性調節障害を地 期と誤解されることも多い障害。〇 (OD)」の当事者や家 医師らと共に支援の形

一映会が開かれている。富

参加者が障害や

士市―は一当事者は起きら 飯泉哲哉さん(49)=富

の上映会の実行委員会が趣 「考える会」は、富士で

れない苦しみに加え、周囲

くさんいるのではと改めて

さん<tiizumi3@hc 援する。問い合わせは飯泉 tmail.com> 障害への理解啓発や、 (富士支局・宮城徹

映きっか

「起立性調節障害」支援の会発足





=富士市のロゼシアター

企画した飯泉医師

「周囲の理解必要」

上映会を企画し、自身も当事者家族 の飯泉哲哉さんにODについて聞い た。

一企画の経緯は。

「長女が中学生の時に発症し、学校 に行けなくなった。友人の手助けや学 校の援助があって高校には通うことが できた。立ち直るには周囲の理解が必 要で、上映会は社会の認識が広がる好 機だと思った」

ーどのような障害か。

「夜に眠れず朝に起きられない。思 春期にさまざまな不調が現れ、不登校 の3~4割がODといわれる。2005年 に小児心身症学会がガイドラインを出 教育機関などへの認知が進んでい

·周囲にできることは。

『気の持ちよう』『親の教育が悪 などは禁句。早期の治療や無理の ない生活とともに、良好な親子、友人 関係が必要だと感じている」